

2016年12月6日

2016年度 環境委員会活動報告

I. 環境委員会メンバー

- 委員長： 樹神 幸夫 (伯国三菱重工業)
- 副委員長： 寺本 将人 (ブラジル住友商事)
- 副委員長： Sidnei Kendi Kakazu (トヨタ)
- 副委員長： 馬場 新 (伯国三菱重工業)

II. 活動方針

- 1) 地球温暖化の防止，低炭素社会や循環型経済社会の構築を念頭に，日本・ブラジル双方における持続可能な発展に貢献する。
- 2) 企業の存続と活動に必要十分要件となりつつある環境問題への主体的な取組を涵養・勧奨することで商工会議所メンバー企業各々の企業価値の向上に貢献する。
- 3) 商工会議所の機能・ネットワークを最大活用しつつ，地球環境問題をテーマに日伯の一層の関係強化を図るとともに，CSR（企業の社会的貢献）の見地から外部に対する効果的な情報を発信する。

III. 活動計画

- 1) 商工会議所メンバー内の更なる意識向上に資する勉強会・講演会を開催することに加え，商工会議所環境委員会ホームページを通じた地球環境情報の随時掲載，情報発信を行う。
- 2) 再生可能エネルギー開発，CDM（クリーン開発メカニズム），エタノール，バイオディーゼル等に関するプロジェクトサイトの現地視察を実施する。

3) 上記活動に併せて、環境問題解決における日本企業の知見・技術力の活用・貢献の機会も探索する。

IV. 活動実績

1) 4月20日に第一回の委員会を開催、活動方針の確認と活動予定を確認、7月5日に第二回の委員会を開催。


前回中間報告の通り、ブラジル・ニッポン移住者協会(ABIJA)、OISCA ブラジル総局のメンバーを迎え、協力可能な活動についての紹介を受け、当年度事業として既存植林地の補植事業を中心に活動を検討することとした。


2) 補植事業に最適な時期と場所の選定を事務局ベースで ABIJA/OISCA 両団体に照会していたところ、源泉地域の再生・保護・植林事業への具体的な支援(自動車、太陽電池パネル、発電機等々)検討の依頼があったため、個別の支援は難しいことを伝え、補植事業(会員に呼びかけ、昨年度実施した21世紀の森等への植林活動)への参加に加えて、「緑の羽根募金」活動等に協力する道を探ることとして調整中。


3) 補植事業及び募金活動については、来年2月を目途に実施できないかを次回委員会で検討予定。

以上

カーボンクレジット関連情報コーナー

 [ブラジル三井住友銀行の内田肇氏がシッコ・メンデス社会環境章受章](#)(2010年9月3日 邦字新聞記事)


 [三井住友銀行は環境ビジネス貢献で南大河州議会/カシアス市議会から表彰](#)(2008年10月21日)

 [排出権取引などでブラジルの発展に寄与で奥正之三井住友銀行頭取に“100周年記念叙勲”](#)(8年6月18日)

 [BSMB ニュースレター「気候変動と排出権取引」8年6月号](#)

 [BSMB ニュースレター「気候変動と排出権取引」8年5月号](#)

 [BSMB ニュースレター「気候変動と排出権取引」8年4月号](#)

 [BSMB 銀行 HP 立上](#)(邦字新聞記事)

 [コロンビアでカーボンクレジット取引](#)(日刊工記事)



SMBC

BANCO SUMITOMO MITSUI BRASILEIRO S.A.



Stop Global Warming!

Team Minus 6%

www.team-6.jp



[BSMB](#)

[銀行サイト](#)

 [BSMB ニュースレター「気候変動と排出権取引」8年3月号](#)

 [100万トンのカーボンクレジット取引（ガゼッタ紙に掲載）](#)

